

次世代画像生成AI 徹底比較：GPT Image 2.0 vs Nano Banana 2 — ビジネス実装のための戦略的ガイド

GPT Image 2.0



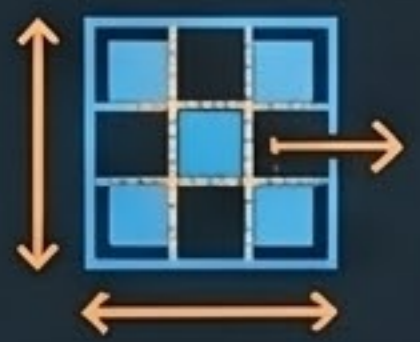
Thinking モード

「Thinking (思考)」モードによる自律補完:
生成前にウェブ検索を行い、プロンプトにない文脈を自律的に推論して画像に反映



日本語の
多語文
At

完璧な多言語テキストレンダリング
日本語のフォント表現やカーニングが極めて自然で、商用レベルで出力可能



論理性と構造制御
構造的・空間的制御に優れ、複雑なレイアウトやロゴ配置に強力な空間制御を発揮

Arena.AI パフォーマンス・リーダーボード (スコア)

1512ポイントで首位、圧倒的な総合評価を獲得



構造的限界と弱点
写実性の欠如と縦書きの課題: 出力が「AIによる完全なレンダリング」に見えがちで生々しさに欠ける点や、日本語の「縦書き」の配置に課題

Nano Banana 2 (Gemini 3.1 Flash Image)



4~6秒の超高速生成
従来の「速度か品質か」のトレードオフを解消し、Flashモデルの速さで高品質な出力を実現



Google画像検索グラウンディング
リアルタイムの検索結果を参照し、最新の製品デザインや今日のイベントなど「今」を描写



フォトリアリズムと感情表現
フォトリアリズムと感情的な視覚表現において無類の強さを発揮し、生々しい質感を描写



構造的限界と弱点
論理的従順さの欠如: 複雑なグリッド配置や厳密な空間制約を「デザイン上の提案」として曖昧に解釈し、ハルシネーションが発生しやすい

VS

出力品質の次元別比較 (Pollo AI評価, 10点満点)



API生成コスト比較 (USD)

1K解像度: 償差



標準的なデジタルメディア用途ではコスト意は小さい

4K解像度: Bananaが圧倒的優位



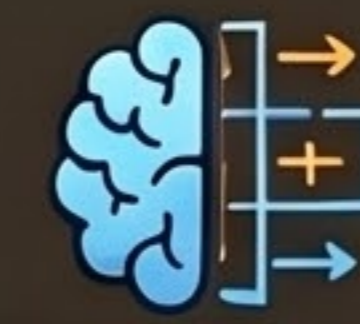
BananaはGPTの半分以下のコストであり、大規模な印刷物やビルボード向けで高い経済性

戦略的ハイブリッド・ワークフロー



探索 (Nano Banana 2)

超高速生成と低コストを活用し、大量の構図やライティングのバリエーションからアイデアを素早く探索



構築・制御 (GPT Image 2.0)

定まった義に対し、GPTの強力な空間制御でロゴやテキストを正確に記置し、論理的な清書を行う

最終出力 (選択的)

文字の鮮明さを優先 (GPT)

写真の質感や大重出力を優先 (Banana)



文字の鮮明さを優先するならGPT、写真の質感や大量出力のコスト抑制を優先するならBananaで最終レンダリング